



(法第28条第1項関係様式例)

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(NPO法人対話する市民後見くもと「カタルパ」)

1 事業の成果

(1) 事業の概要

昨年度に続きコロナ禍の当 NPO 法人の活動は制限を受けました。

今年度は、昨年度に増して交流会主体の事業となりました。

交流会の定例使用会場の制限(午前中は使用禁止)、台風等による中止により計画通りの開催はできませんでした。

月例交流会(LINE による交流会を含む)は、雑談対話を創意工夫して開催、会員の近況、日常生活及び対人支援などの問題点等について、参加者全員の自由な発言により市民後見活動の意識高揚を図り、会員のQOL(生活の質)を向上できました。

(2) 事業の実施

ア 月例交流会

会場は、熊本市立体育館・青年会館研修室を定例とし、野外として江津湖を計画しました。

熊本市立体育館・青年会館研修室は4月(総会)、5月、11月(2階フロア)、3月の年4回、江津湖での開催は9月と11月計画し9月は台風により中止、11月は雨天により会場変更しました。

雑談対話は昨年度に引き続き「聴く・語る」を継続推進し、参加者の自由な発言を尊重し、対話推進能力を高め雑談対話の必要性を認識できました。

また、LINE のデータ通信を活用した交流会を年6回実施、制限された会場使用の月例交流会を補足することができました。

イ 市民後見人の定義の検討

成年後見人としての市民後見人の定義を地域で「ボランティア等による市民後見活動する市民は市民後見人である」、と月例交流会及びカタルパ通信で市民後見人の定義を修正した。

今後の市民後見活動に取り入れて、幅広い当 NPO 法人活動を推進します。

ウ 会員との関係性の維持

コロナ禍において会員との関係性の維持が重要と考え、カタルパ通信、「5年間のあゆみ」、ふたりの読書会などにより会員との関係性の維持に努め会員との信頼性を深化に努めました。

2 事業の実施に関する事項
特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益 対象 者の範 囲及 び 人数	支出額 (円)
成年後見 制度の普 及啓発及 び相談に 関する事 業	4月総会 事業審議事項（承認可決） 令和4年度事業報告及び会計報告 令和5年度事業計画と会計予算 役員変更 雑談対話 ・近況等について ・NPO法人の今年度の目標等	4/16	熊本市 総合体 育館・ 青年会 館 研修室	3名	会員 8名	3,508
	LINE交流会 LINE会員登録者9名 ビデオ通信を活用して年6回、近 況、成年後見制度の現況と問題点 等について雑談対話を実施した。	6/18 7/16 8/20 9/17 12/17 1/21	LINE ビデオ 通信	1名	会員2 ～5 名	
市民後見 人、生活 支援員の 養成及び 育成に関 する事業	5月交流会1 雑談対話 ・近況等について 神社総代として地域支援、菊陽町の 現状(TSMCの進出と水の問題)、 歩行計を活用した健康管理等	5/21	熊本市 総合体 育館・ 青年会 館 研修室	1名	会員 7名	25,688
地域後見 支援体等 との協働 に関する 事業	3月交流会 雑談対話 ・近況等について ・熊本城マラソン大会に参加し完 走した会員の練習方法と本番の感 想に対し参加者の質問等 ・今年度の振り返りと次年度の取 り組み 民生委員・児童委員として対人援助	3/18	熊本市 総合体 育館・ 青年会 館 研修室	1名	会員 6名	4,334
		通年	熊本市 天草市	2名	会員 2名	

対人援助に関する調査・研究に関する事業	11月交流会 雑談対話 ・近況等について ・市民後見人の定義について 地域ボランティアとして高い意識と熱意をもって対人援助している会員は市民後見人である。市民後見人の定義を変更して今後の市民後見活動を推進する。	11/19	熊本市総合体育館・青年会館 研修室	2名	会員 7名	6,513
	カタルパ通信（2022.12）の発刊 ・民生委員は誰が決めるのですか？ ・市民後見人の定義について ・今後の活動について	12/25	郵送	1名	会 員 15名	
	当NPO法人の「5年間のあゆみ」を企画、概要を作成配布した。次年度発刊予定	通年	郵送	1名	会 員 15名	
	ふたりの読書会 会員相互のQOLを目的に読書会を年5回実施した。	4/21 6/12 8/21 9/20 3/16	山都町 会員自 宅	1名	2名	

※定款第5条に掲げる「成年後見人等の受任に関する事業」及び「親族後見人の支援に関する事業」は、各交流会で成果と必要性について普及啓発を図った。

令和4年度 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(法人名NPO法人対話する市民後見くまもと「カタルバ」)

科目	金 額 (単位: 円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	60,000		
賛助会員受取会費	3,000	63,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	30,000		
施設等受入評価益		30,000	
3 受取助成金等			
受取民間助成金			
4 事業収益			
5 その他収益			
受取利息	2		
雑収益		2	
経常収益計			93,002
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
臨時雇賃金			
法定福利費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費			
通信運搬費	1,092		
印刷製本費	18,033		
消耗品費			
備品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
会議費	20,918		
雑費			
その他経費計	40,043		
事業費計		40,043	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
役員報酬			
法定福利費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
旅費交通費			
通信運搬費	2,812		
印刷製本費	5,112		
消耗品費			
備品費			
水道光熱費			
地代家賃			
保険料			
会議費			
雑費			
その他経費計	7,924		
管理費計		7,924	
経常費用計			47,967
当期経常増減額			45,035
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			45,035
前期繰越正味財産額			300,776
次期繰越正味財産額			345,811

令和4年度 貸借対照表
令和5年3月31日現在

法人名 (NPO法人対話する市民後見くまもと「カタルパ」)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現金			
預金	345,811		
未収金			
流動資産合計		345,811	
2固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
固定資産合計		0	
資産合計			345,811
II 負債の部			
1流動負債			
短期借入金			
預かり金			
理事長立替金			
流動負債合計		0	
2固定負債			
長期借入金			
退職給与引き立て金			
理事長立替金			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		300,776	
当期正味財産増減額		45,035	
正味財産合計			345,811
負債及び正味財産合計			345,811

計算書類の注記(令和4年度)

法人名：NPO法人対話する市民後見くまもと「カタルパ」

1. 重要な会計方針
計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1)固定資産の減価償却の方法
- (2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
- (3)ボランティアによる役務の提供
- (4)消費税等の会計処理

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	成年後見制度の普及啓発及び相談に関する事業費	市民後見人及び生活支援員の養成及び育成に関する事業費	地域後見支援団体等との協働に関する事業費	対人援助に関する調査・研究に関する事業費	成年後見人等の受任に関する事業費	親族後見人の支援に関する事業費	合計
(1) 人件費							
給料手当							0
臨時雇賃金							0
法定福利費							0
人件費計	0	0	0	0	0		0
(2) その他経費							
旅費交通費							0
通信運搬費				1,092			1,092
印刷製本費							0
消耗品費		18,033					18,033
備品費							0
水道光熱費							0
地代家賃							0
保険料							0
会議費	3,508	7,655	4,334	5,421			20,918
雑費							0
その他経費計	3,508	25,688	4,334	6,513	0		40,043
合計	3,508	25,688	4,334	6,513	0		40,043

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額		期末帳簿価額
合計	0	0	0	0	0		0

4. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

令和4年度財産目録
令和5年3月31日現在

(NPO法人対話する市民後見くまもと「カタルパ」)

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)			
普通預金(ゆうちょ銀行楠支店)		310,811	
普通預金(肥後銀行楠支店)		35,000	
未収金(××年度会費×名分)			
流動資産合計		345,811	
2 固定資産			
土地			
家屋			
車両			
固定資産合計		0	
資産合計			345,811
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
預かり金			
理事長立替金			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			345,811

監査報告書

令和4年度決算において適正に処置されていることを認めます。

監 事 砂原 哲志

令和4年3月31日
令和5年4月10日

